



人とクルマと街と、
タイムズ24株式会社

資料 1

第3回モーダルコネクト検討会 資料

— 高速バスとカーシェア連携のご提案 —



平成28年6月15日

タイムズ24株式会社

本提案の主旨

高速バスは、他の交通機関と比べて運賃が低廉であり、また夜行便における時間の有効活用等が可能になる、**生活に必要不可欠な移動ツールとして定着**しています。近年ではネットワークの整備だけでなく利用者の負担軽減に目を向け、乗り心地を重視した車両が開発されるなど、サービスレベルも向上したことから年々利用者が増加しています。

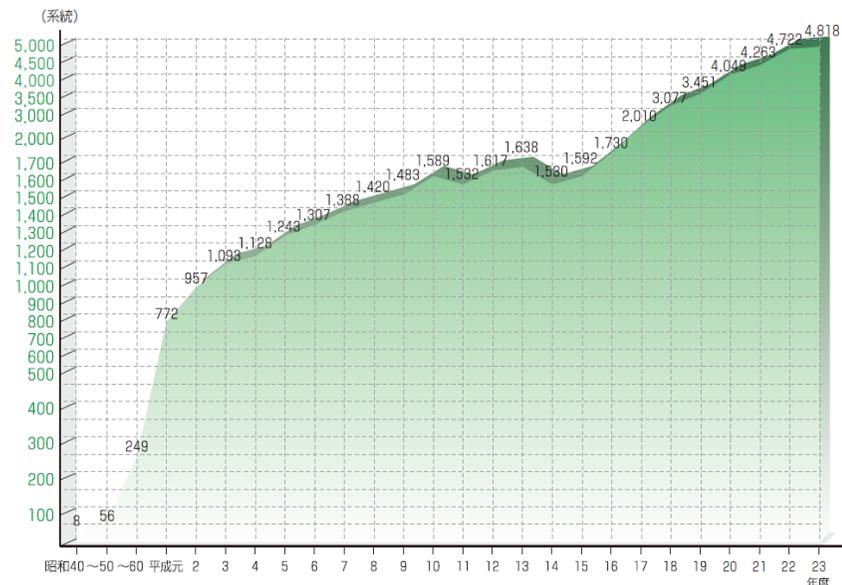
本取組では、高速バスとカーシェアリングを組み合わせ、**高速バスの新たな魅力を創出**します。

その魅力を利用者に周知させることで、既存利用者の利用回数を増やすだけでなく、新たな顧客獲得も視野に入れ、さらなる**利用者の拡大**を推進することを目的としています。



高速バスの
新たな魅力の創出

高速乗合バスの運行系統数の推移



出展：日本バス協会
平成27年度版「日本のバス事業と日本バス協会の概要」

タイムズカープラス基本情報

会員数推移

2002年頃に日本にカーシェアリングが導入されたのち、2010年を境に会員数及び車両台数が増加し、急速な市場拡大を経て、現在では全国でサービス展開しています。



タイムズカープラス基本情報

基本情報

会員数61万人、8,000ヶ所、15,000台の車両を配備。業界シェア70%以上！

※2016年4月時点



ガソリン代・保険料込みオトクな料金体系！

プリウスやデミオは、ガソリン代、保険料込で、15分206円、6時間4,020円でご利用可能！夜間がオトクなバックもご用意！！



タイムズカープラスは使った分だけご請求！！

ご利用料金としてお支払い頂くのは「予約した時間」ではなく「実際に使った時間」です。また、キャンセルは予約の1分前まで可能！

※利用料金の課金は予約開始時間からとなります。



予約した3分後には使えるシステム！！

パソコンや携帯電話から簡単予約。予約完了したら3分後には使えるシステム。レンタカーと違い無人サービスなので貸出時の待ち時間や手間はありません。

ベーシッククラス [15分/206円]



プレミアムクラス [15分/412円]

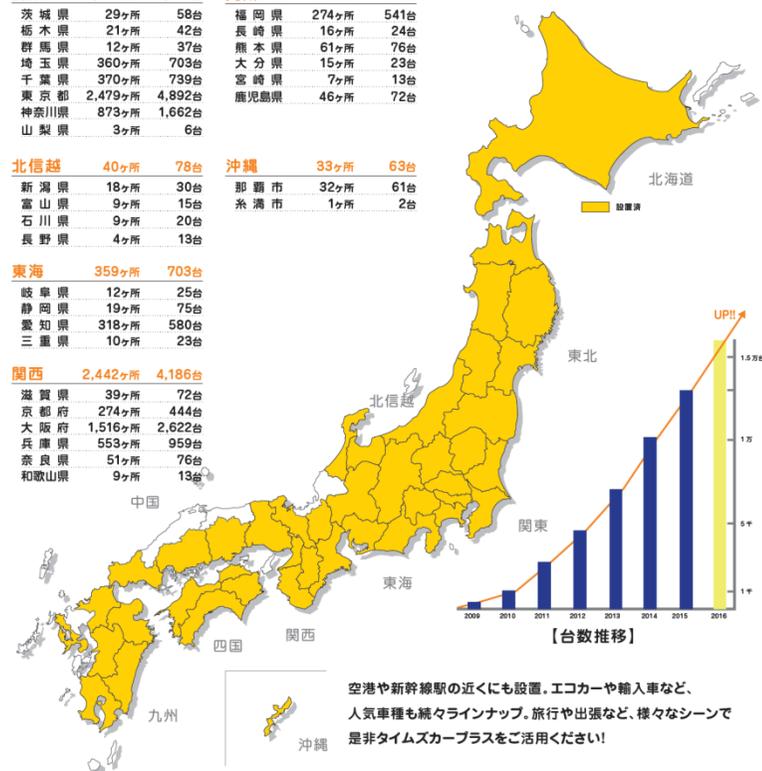
※バック利用ならプレミアム車種もバック料金でご利用いただけます。



地域	店舗数	台数
北海道	123ヶ所	216台
中国	257ヶ所	435台
東北	131ヶ所	298台
宮城県	111ヶ所	235台
岩手県	5ヶ所	16台
福島県	6ヶ所	15台
秋田県	3ヶ所	11台
山形県	3ヶ所	10台
青森県	3ヶ所	11台
関東	4,147ヶ所	8,139台
茨城県	29ヶ所	58台
栃木県	21ヶ所	42台
群馬県	12ヶ所	37台
埼玉県	360ヶ所	703台
千葉県	370ヶ所	739台
東京都	2,479ヶ所	4,892台
神奈川県	873ヶ所	1,662台
山梨県	3ヶ所	6台
九州	419ヶ所	749台
福岡県	274ヶ所	541台
長崎県	16ヶ所	24台
熊本県	61ヶ所	76台
大分県	15ヶ所	23台
宮崎県	7ヶ所	13台
鹿児島県	46ヶ所	72台
北信越	40ヶ所	78台
新潟県	18ヶ所	30台
富山県	9ヶ所	15台
石川県	9ヶ所	20台
長野県	4ヶ所	13台
東海	359ヶ所	703台
岐阜県	12ヶ所	25台
静岡県	19ヶ所	75台
愛知県	318ヶ所	580台
三重県	10ヶ所	23台
関西	2,442ヶ所	4,186台
滋賀県	39ヶ所	72台
京都府	274ヶ所	444台
大阪府	1,516ヶ所	2,622台
兵庫県	553ヶ所	959台
奈良県	51ヶ所	76台
和歌山県	9ヶ所	13台
沖縄	33ヶ所	63台
那覇市	32ヶ所	61台
糸満市	1ヶ所	2台

全国のタイムズカープラス 2016年4月末日現在

43 都道府県
7,969 ヶ所
14,917 台



空港や新幹線の近くにも設置。エコカーや輸入車など、人気車種も続々ラインナップ。旅行や出張など、様々なシーンで是非タイムズカープラスをご活用ください！

タイムズカープラス基本情報

利用方法



▶ ご利用料金

	個人	家族	学生	法人
会員カード発行手数料	1,550 円 (1人/1枚)			648 円 (1人/1枚)
月額基本料金	1,030 円		無料	

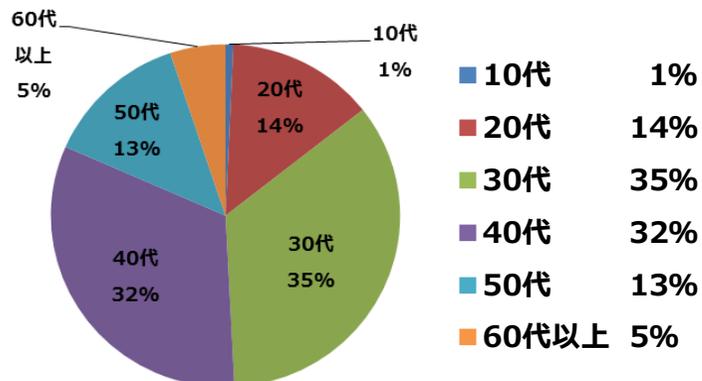
	ベーシック	プレミアム	距離料金
ショート利用料金	15分/ 206 円	15分/ 412 円	なし
バック 利用料金	6時間バック	4,020 円 / 回	16 円 × 走行距離 (km)
	12時間バック	6,690 円 / 回	
	24時間バック	8,230 円 / 回	
	アーリーナイトバック (18:00~24:00)	2,060 円 / 回	
	レイトナイトバック (24:00~翌9:00)	2,060 円 / 回	
	ダブルナイトバック (18:00~翌9:00)	2,580 円 / 回	

※ベーシック車両:デミオ・プリウス・フィット等/プレミアム車両:BMW・MINI・CR-Zなど ※バック利用ならプレミアム車両もバック料金でご利用可能です。※ショート利用、バック利用の選択はご予約時にお選びいただけます。※12時間バック、24時間バック、ナイトバックには1kmあたり16円の距離料金がかかります。※バック料金には、給油・洗車の料金割引が予め含まれております。そのため、料金割引の適用対象外とさせていただきます。※バック料金は早く返却しても請求金額は変わりません。

利用者アンケート

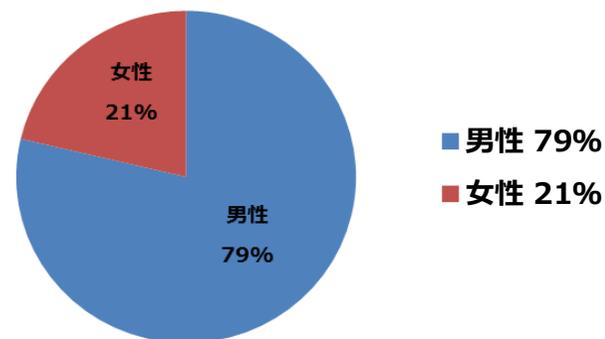
Q.年代

※総回答数：5,616人



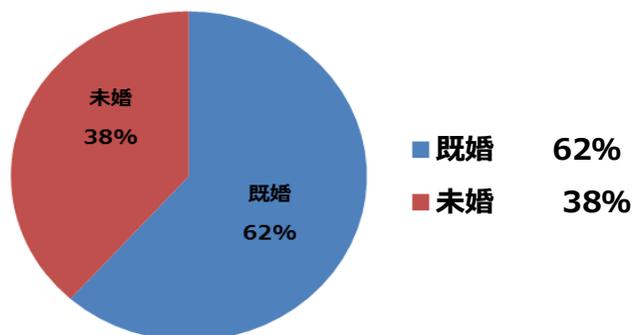
Q.性別

※総回答数：5,616人



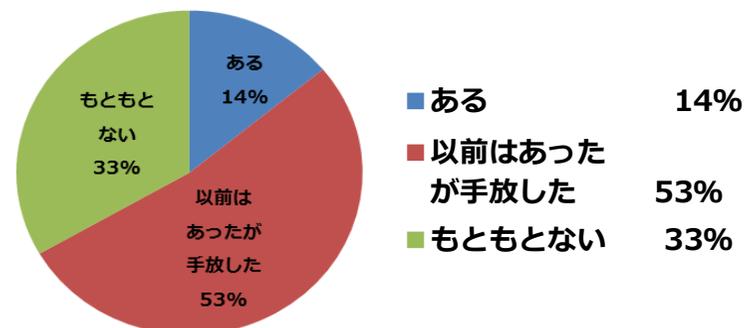
Q.結婚されていますか？

※総回答数：5,616人



Q.車を所有していますか？

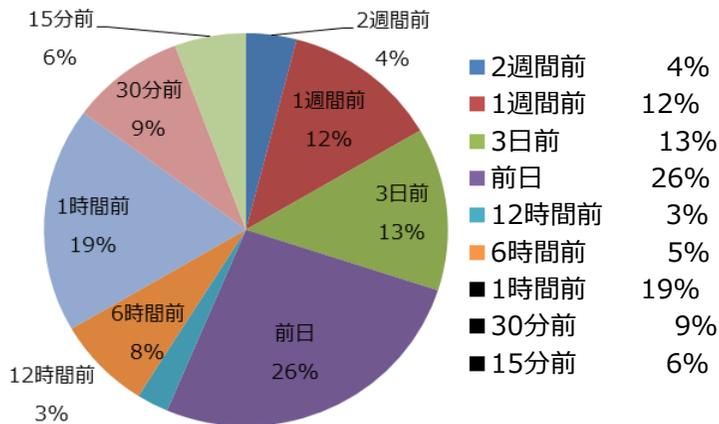
※総回答数：5,616人



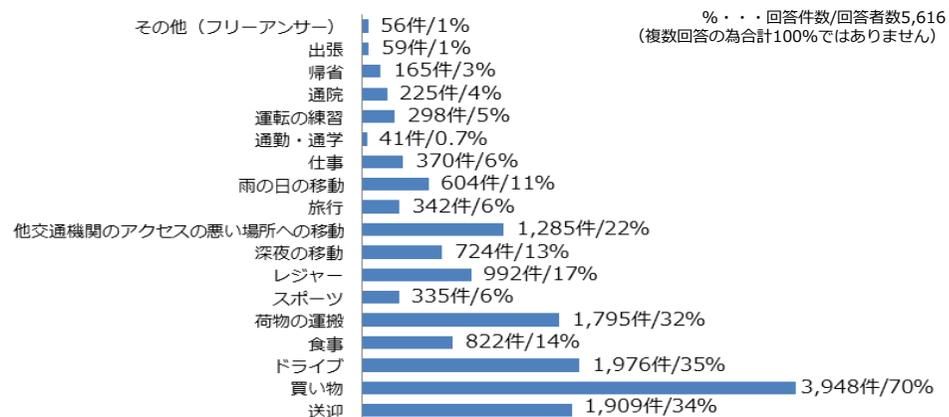
利用者アンケート

Q.どれくらい前に予約しますか？

※総回答数：5,616人



Q.利用目的は？



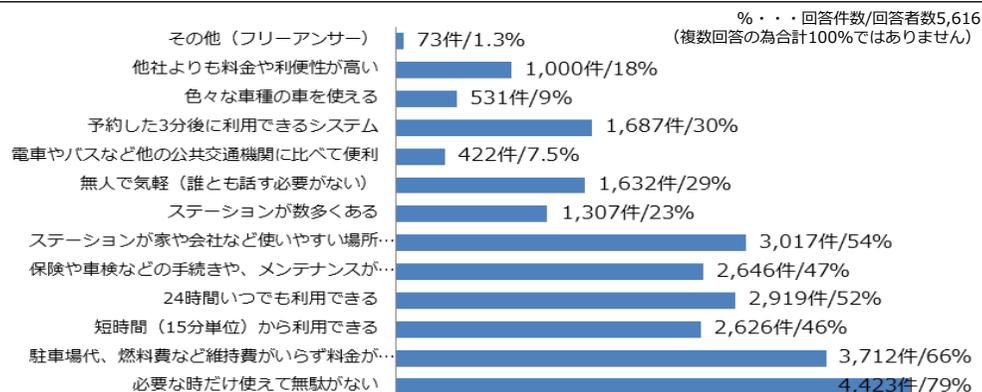
■ 1回あたりの利用時間

全体：3時間45分
個人：3時間43分
法人：3時間50分

■ 1回あたりの走行距離

全体：40km
個人：39km
法人：43km

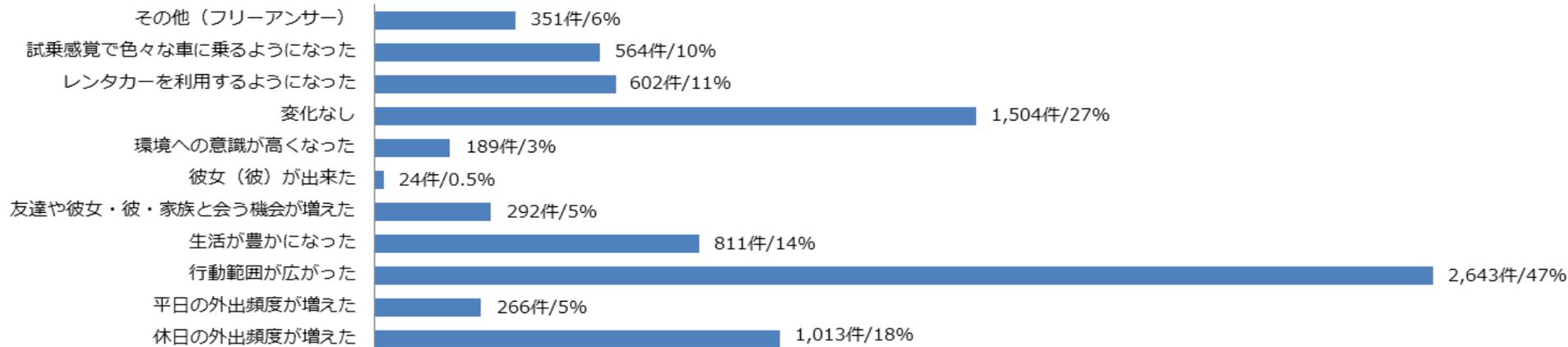
Q.サービスについて満足している点は？



利用者アンケート

Q.サービス利用後の変化

％・・・回答件数/回答者数5,616
(複数回答の為合計100%ではありません)



■ レンタカーとの比較

- ・「繁忙期はレンタカーを借りるのに店舗待たされることが多いので予約した時間に使えるカーシェアを使う」
- ・「レンタカー店舗は、営業時間が短い。」
※ほとんどのレンタカー店舗の営業時間は8時～20時
- ・「そもそも、レンタカー店舗がある駅の方が圧倒的に少ない。」
※店舗数最大のトヨタレンタカー1200店舗に対して日本の駅は約9,600駅
- ・「プリウスやセレナなど、車種によっては長時間利用してもレンタカーよりカーシェアのほうが安い」

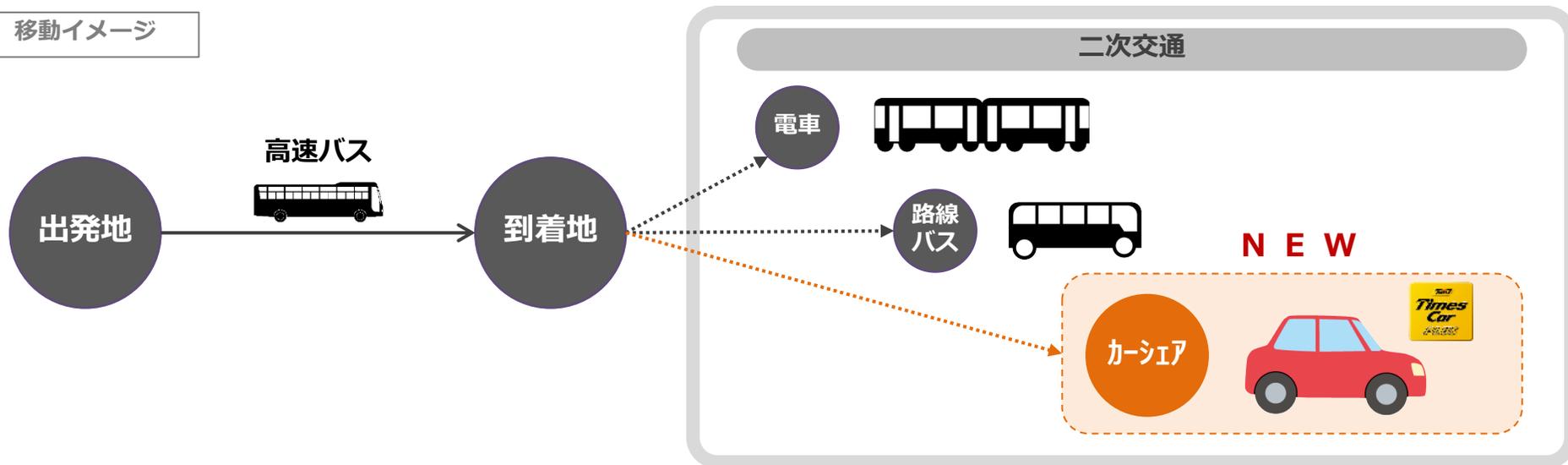
・・・etc

本提案の目的

目的

バス降車後の二次交通としてカーシェアが加わることで、利用者利便性向上に寄与します。利用者のメリットを増やすことで高速バスの魅力を向上させ、さらなる利用拡大に貢献します。

移動イメージ



高速バス&カーシェアにおける利用者メリット

① 移動範囲の拡大

交通手段を増やすことで、行動範囲が広がり、**高速バスの活用方法が拡大**します。



② 24時間乗降可能

早朝・深夜の発着でも、**24時間利用可能なカーシェア**に乗り換えれば効率的な行動が可能になります。



③ 荷物持ち運び負担の軽減

バス降車後も車移動可能のため、**重たい手荷物を持ち運ぶ必要ありません。**

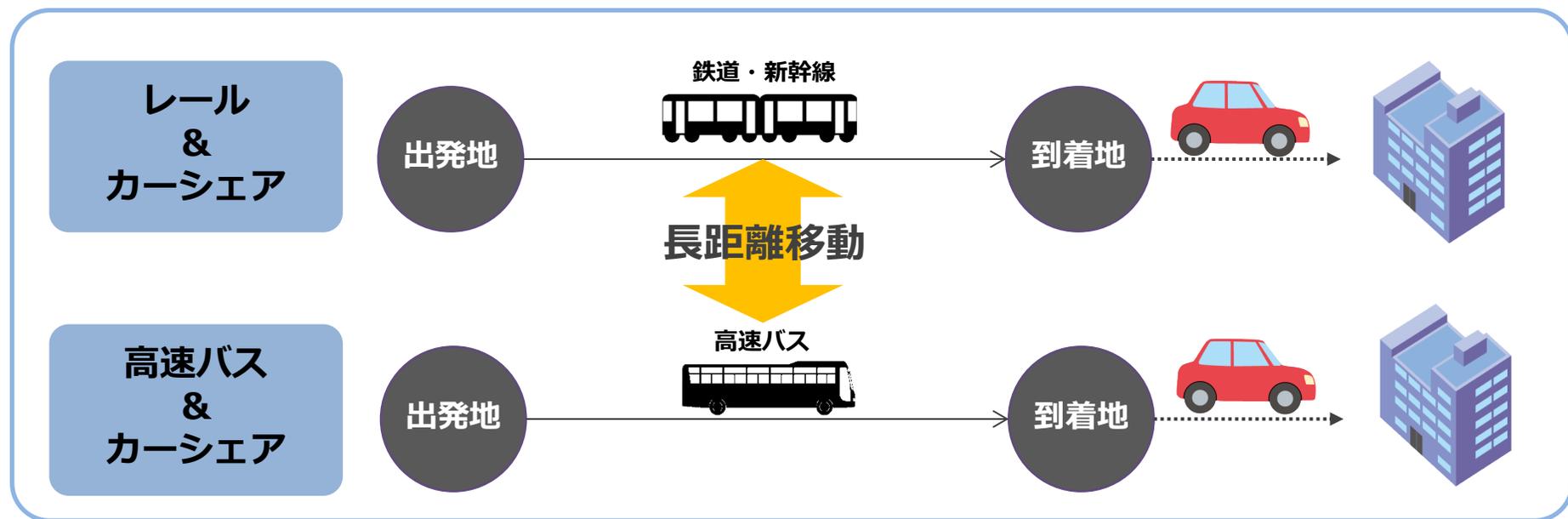


高速バス×カーシェアのニーズ

法人需要の掘り起し

弊社では鉄道降車後のカーシェアへの乗り継ぎサービスの「レール&カーシェア」を提供しています。地方都市では県外利用者が50~80%を占め、法人利用（出張時等）も多く頂いています。

高速バス&カーシェアも「長期移動+二次交通」という同じ移動形態であることから、**法人利用の掘り起しが可能**と考えます。



レール&カーシェア同様のニーズが見込める

高速バス×カーシェアのニーズ

レール&カーシェア展開範囲



新幹線停車駅
設置ステーション MAP

全国 63 駅 250 ヶ所 603 台
新幹線駅設置率: **58.8%**

2016.4.現在

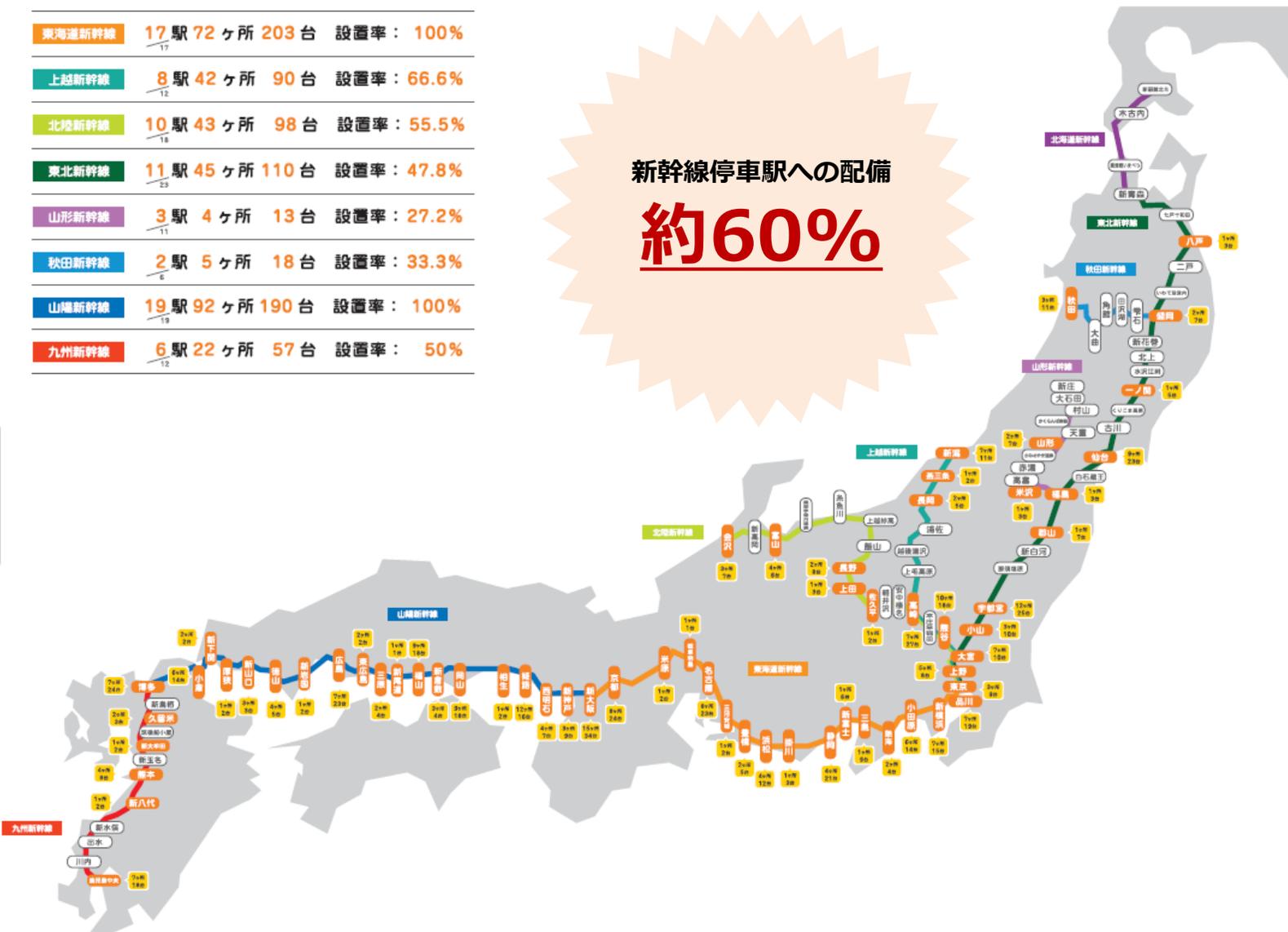
空港の近くにもあります!

大阪国際空港 5 台
関西国際空港 3 台
福岡空港 2 台
宮崎空港 4 台

東海道新幹線	17 駅 72 ヶ所	203 台	設置率: 100%
上越新幹線	8 駅 42 ヶ所	90 台	設置率: 66.6%
北陸新幹線	10 駅 43 ヶ所	98 台	設置率: 55.5%
東北新幹線	11 駅 45 ヶ所	110 台	設置率: 47.8%
山形新幹線	3 駅 4 ヶ所	13 台	設置率: 27.2%
秋田新幹線	2 駅 5 ヶ所	18 台	設置率: 33.3%
山陽新幹線	19 駅 92 ヶ所	190 台	設置率: 100%
九州新幹線	6 駅 22 ヶ所	57 台	設置率: 50%

新幹線停車駅への配備

約60%



高速バス×カーシェアのニーズ

高速バスとカーシェアの親和性

カーシェアリングは、高速バスにおける課題や二次交通への乗り継ぎの観点から考察すると、他の公共交通機関と比較して、**高速バスの弱点を補強できる親和性の高い二次交通であると推測**でき、**需要の拡大が見込めると考えられます。**



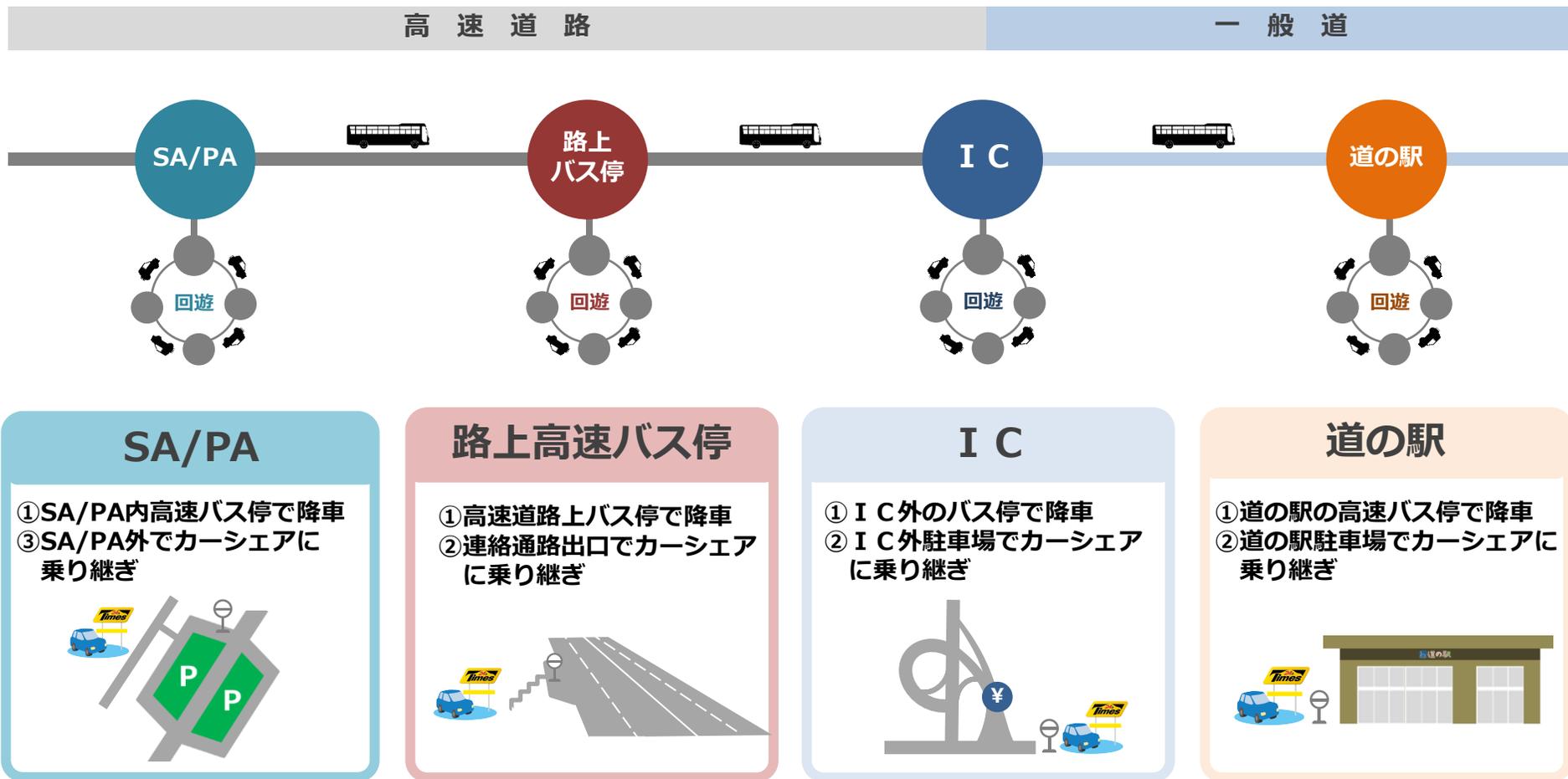
■各公共交通機関との比較

	課題	電車	タクシー	レンタカー	カーシェア
高速バス	深夜早朝の発着	△ ・動いていない ・本数が少ない	△ 本数が少ない	× 店舗が営業していない	○ 24時間利用・返却OK
	手荷物	× 自身で持ち運び	○ 車での持ち運び可	△ 店舗まで自身で持ち運び	○ 車での持ち運び可
	新たな拠点整備	× バス停基準の路線整備は困難	△ まとまった降車客が見込めなければ困難	△ 市街地以外では営業困難	○ 車両スペースの確保のみで拠点整備完了

⇒カーシェアとの親和性が極めて高い

本提案実施場所

実施場所としてSA/PA・高速道路上・I C・道の駅をご提案します。
各地点の高速バス停にカーシェアを設置し、バス停を回遊の為の結節点とします。



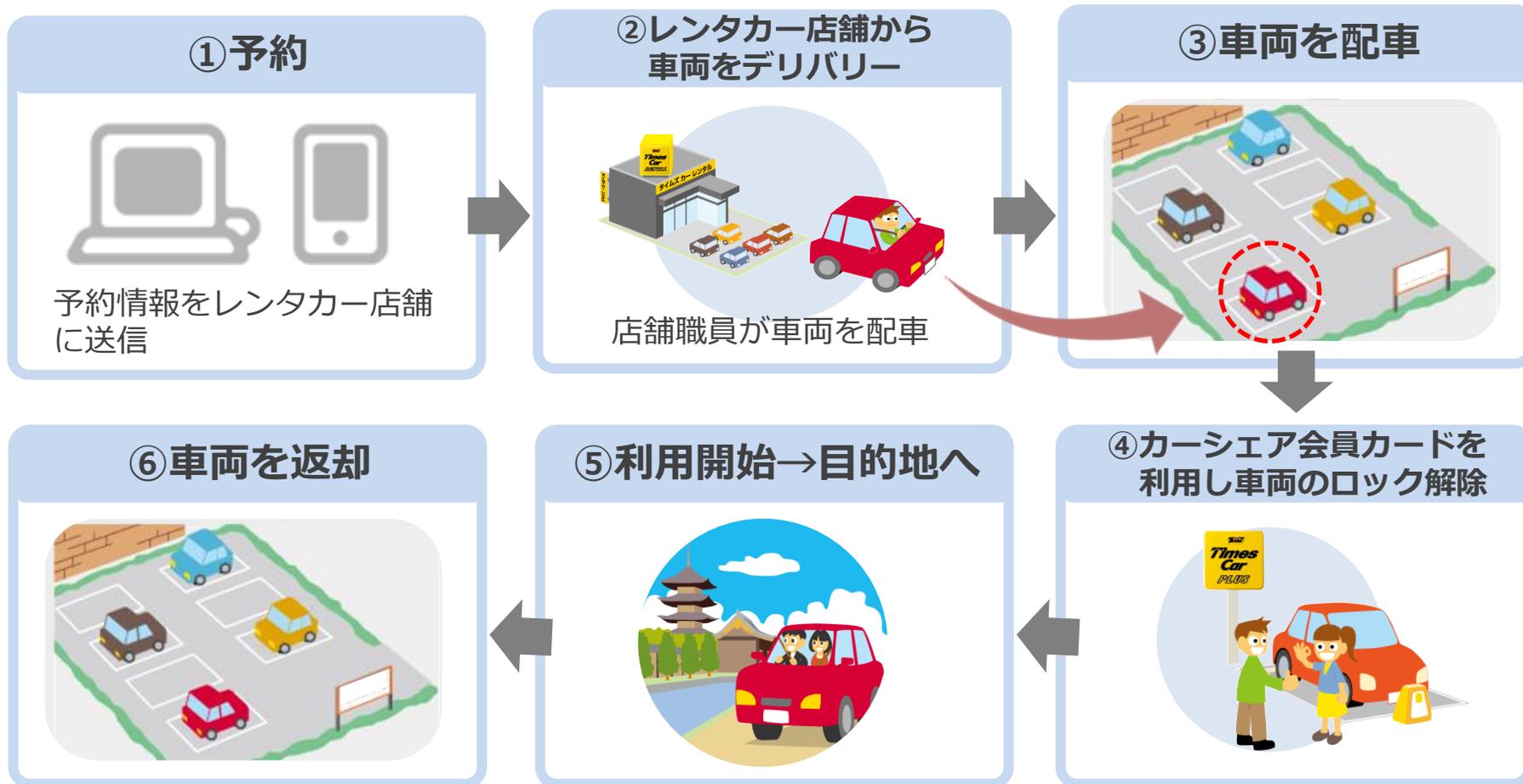
カーシェアのシステムを利用したレンタカーサービス

レンタカーのデリバリーサービス

利用者の多様なニーズに対応するため、カーシェアのシステム（車載器）を利用した、無人の場所でもレンタカーを借りられる**クルマのデリバリーサービス**を提供します。

※2016年7月に一部でサービスリリース予定

■利用フロー



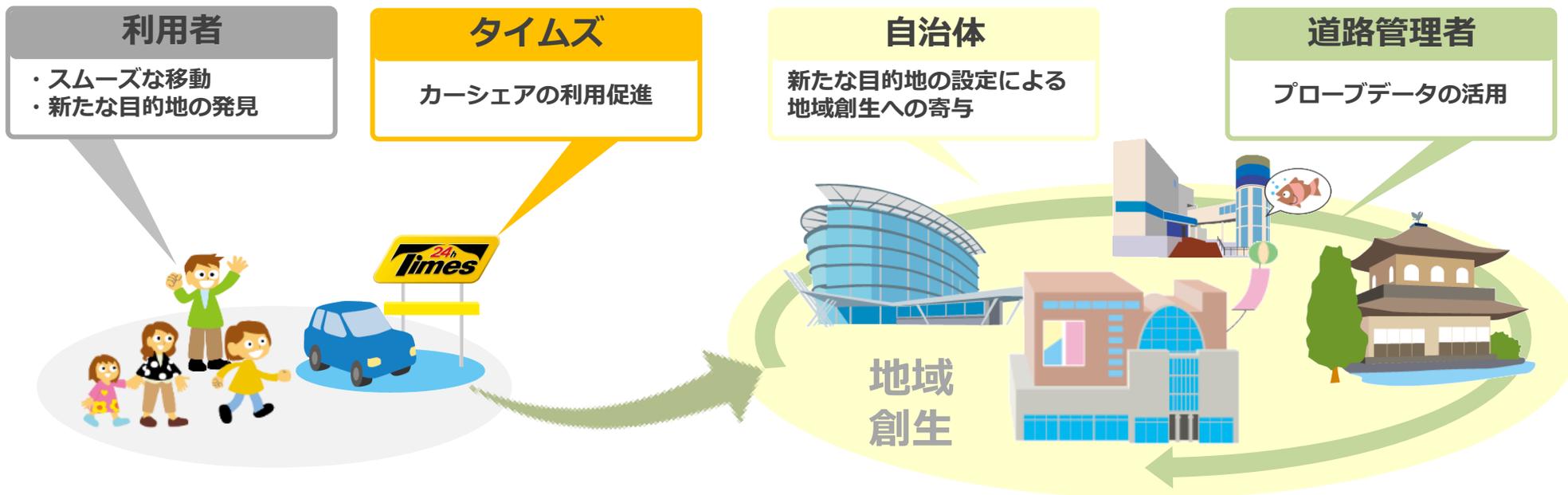
カーシェアリングを使った地域回遊の促進

各自治体や事業者と協力し、新たなチェックイン先（目的地）となる場所を創出・誘導を行う事で、**地域創生への効果も期待できます**。

また、**車載器からプローブデータの取得**が可能になり、様々な活用が実現されます。

－ プローブデータの取得 －

車載器のGPSで、設定先への到着有無、走行距離や滞在時間の割り出しが可能。

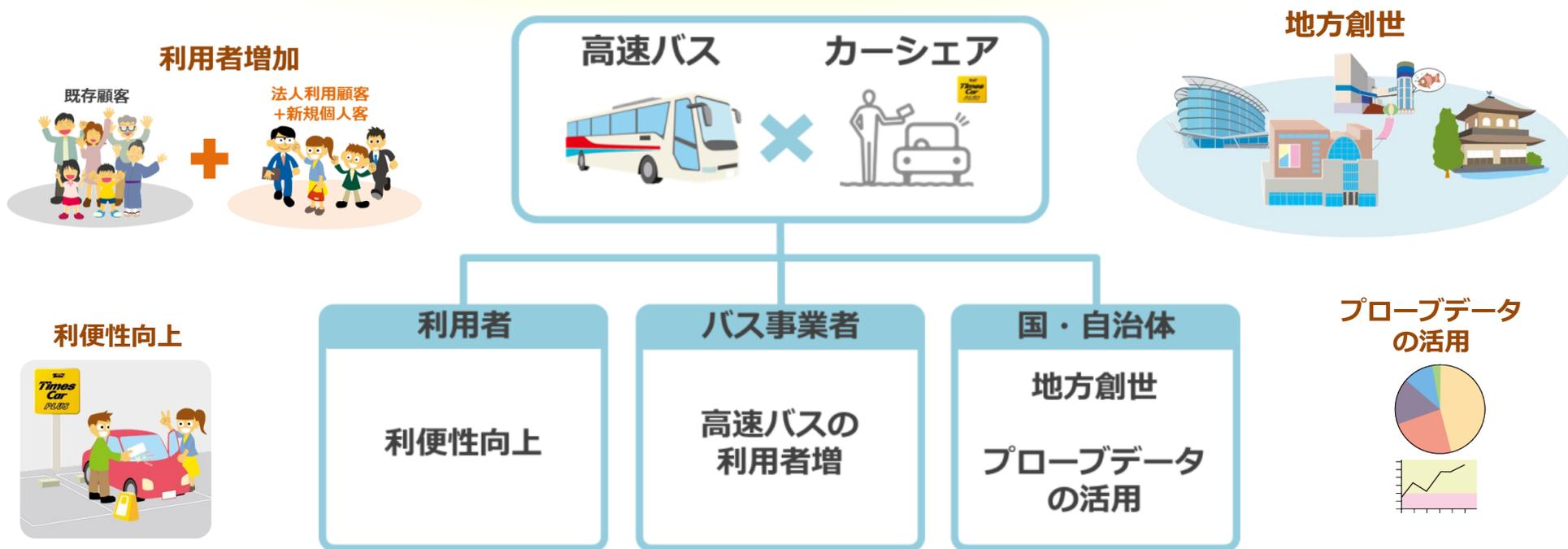


総括

新たな活用方法を認知させ利用拡大を図ることで、鉄道運行の無い中長距離の移動手段である高速バスの、さらなるネットワーク強化が実現されると考えます。

本提案にて、今ある道路空間を最大限活用し、利用者の増加・利便性向上に貢献致します。

各視点のメリット



【課題】

①カーシェア設置用地

②自治体・各バス会社様との連携（普及認知活動）